

## 平成 25 年度 実施事業の概要

施設名: 国立妙高青少年自然の家
教育事業名: 妙高ネイチャープログラム指導者養成研修
期間: 平成25年 6月28日(金)~6月30日(日) 平成26年 1月19日(日)
対象及び参加人数: 大学生 学校教員 その他 6月 17名 1月 27名
目的: 環境教育等についての講義・演習や妙高ネイチャープログラムの体験を通して、自然体験の指導者として必要な資質や指導力の習得を目指す。併せて自然の家周辺の自然環境を活用した環境教育や問題解決学習を指導する研修指導員を養成する。
事業概要: 環境教育等についての講義・演習や妙高ネイチャープログラムの体験を通して、環境教育の指導者として必要な資質や指導力の習得を目指す。併せて自然の家周辺の自然体験を活用した環境教育や問題解決学習を指導する研修指導員を養成する。冬季はスノーシューハイクによる冬の自然体験活動を加え、研修の充実を図った。学校教員の事前研修としての受講もあり、様々な参加者間での交流が生まれるなど、多くの成果が得られた。
成果: 平成 25 年度は、妙高ネイチャープログラムの講師依頼や利用ニーズが多い、学校団体の利用を想定して、研修会を企画した。実際に子どもたちを引率される先生方の事前研修としての受講をすすめたり、指導者にも、学校の児童生徒の利用を対象とした子供理解に関する内容を研修に含んだりするなどしたため、目的のはっきりとした研修会となった。 また、利用者である学校教員と自然体験指導者が同じ受講生として交流をすることとなり、情報交換の場が生まれた。
課題: 研修会受講者数が少ないことである。年度初めに日程を設定しているが、学校関係者がなかなか参加できないことが多い。主たる参加対象をどう設定するかが課題である。 また、様々なあるネイチャープログラムについて、現在は利用の多いプログラムに絞って毎年同じ内容の講習を企画しているが、他のプログラムの受講希望も少なくない。そのことから、研修内容(研修会で実施するプログラム)について、どのように設定していくか、検討が必要である。 また、妙高でも、妙高アドベンチャープログラムについては、指導有資格者を対象としたスキルアップ研修会を実施しており成果が上がっている。本ネイチャープログラム研修においても、同様の研修を実施して、スキルアップを図る必要があると考える。